

総会議案書



日時 2019 年 6 月 1 日

場所 富田林市中央公民館

富田林の自然を守る会

総会次第

1. 開会あいさつ

2. 代表あいさつ

3. 来賓あいさつ

4. 議事

第1号議案 2018年度 活動報告

第2号議案 2018年度 会計告

第3号議案 2018年度 会計監査報告

質疑応答・承認

第4号議案 2019年度 活動方針・活動計画案

第5号議案 2019年度 予算案

質疑応答・意見交換・採決

第6号議案 2019月年度 役員選出

5. 閉会

富田林の自然を守る会

事務局 富田林市若松町4丁目16-21 田渕武夫宅

TEL:090-8888-3912

e-mail:tabuchi@hb.tp1.jp

第1号議案 2018年度事業報告

【Ⅰ】活動の概要

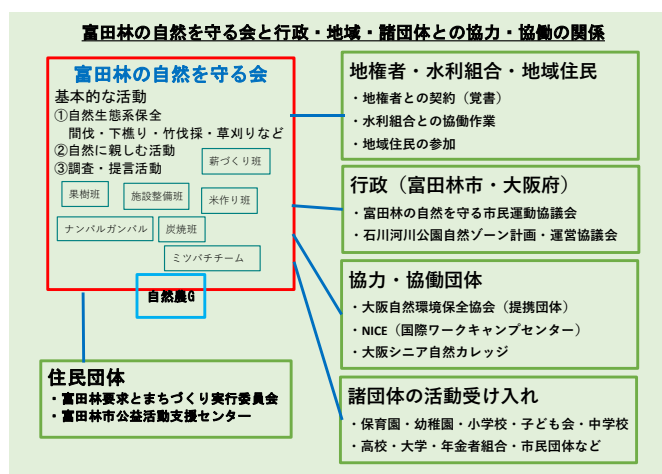
「富田林の自然を守る会（以後「守る会」と略す）は図1のように、地権者、地域住民、行政、その他多くの外部団体と協力・協働しながら活動を進めている。特に富田林市が事務局となって市内の自然に関わる諸団体で構成する「富田林の自然を守る市民運動協議会（以後「協議会」と略す）と一体となって活動を展開している。

1. 基本的な活動内容

(1) 自然生態系保全活動（生物多様性の保全）

①里山保全活動

「雑木林の林床管理（下樵り）」、「人工林（スギ・ヒノキ林）の管理（間伐・枝打ち）」、「竹林管理（雑木林および人工林への竹の侵入防止および竹林としての管理）」、「草地管理（休耕田・放棄田およびその畦、ため池の土手などの草刈り）」、「水生生物の保護と育成（放棄田を利用した水の生きもの池）」、「作業路（観察路）づくり」など。



②その他の自然保護活動

市街地の自然保護〔河岸段丘崖の保全（中野町）など〕。

(2) 文化的活動（自然に親しむ活動）

「米づくり体験（田植え・稲刈り・稲こぎ）」、「畑づくり」、「自然観察会」、「竹炭焼き」、「シイタケ栽培」、「果樹栽培」、「野草を食べる会」、「里山クラフト」、「どんどこもちつき」、「タケノコ掘り」、「水鉄砲づくり」、「流しソーメン」など。

(3) 調査・提言・要望活動など

「自然観察会（植物、野鳥、昆虫、水生生物）」、「自然環境活用調査（富田林市）」、「モニタリング1000里地調査（植物、チョウ；以後「モニ1000」と略す）」、「南原植生調査」、「錦織公園植生調査（大阪自然環境保全協会（以後「保全協会」と略す）の調査に協力）」、「“富田林の自然”誌（協議会）」、「富田林まちづくり研究会（政策提言集）」、「まちづくり要望」など。

【Ⅱ】具体的な活動

1. 自然生態系保全活動（生物多様性保全）

(1) 里山保全活動

奥の谷地区は約 12ha あり、その内里山保全活動を行っているのは雑木林約 0.9ha、人工林約 0.8ha、竹林約 0.4ha、水田（放棄田を含む）約 0.1ha の合計約 2.3ha である。南原地区は約 5ha あり、その内里山保全活動を行っているのは水田（放棄田を含む）約 0.2ha、竹林約 0.1ha の合計約 0.3ha である。奥の谷地区、南原地区を合わせると 17ha 中里山保全活動を行っているのは 2.6ha である。

①協議会主催の活動および守る会主催の活動(表 1、2、3、4)

里山ホリデー（協議会）、里山保全作業と交流会（協議会）、自然観察路の整備（協議会）、里山保全作業（守る会）、草刈り（守る会）などを里山保全活動として取り組んだ。また、自主活動として、計画された行事以外にも有志による作業が行われた。



観察路の倒木処理

年	月	日	曜	作業内容	参加者数		
					一般	世話人	計
2018	6	7	木	水田畦の修理	0	4	4
		8	金	水田取水口付近の階段の設置	0	2	2
	7	27	金	田の草取り	0	2	2
		30	月	田の草取り	0	2	2
		31	火	田の草取り	0	2	2
	8	8	水	田の草取り	0	1	1
		9	木	田の草取り・工作	0	1	1
		11	土	・リーダー（野田参典さん）来富・工作	0	6	6
		11	土	・ため池の水引き（マムシ農地分）	0	2	2
		15	水	・草刈り・工作・竹チップ	0	3	3
		16	木	小屋整理・草刈り・竹処理	0	5	5
		17	金	・小屋整理・手水鉢づくり	0	1	1
		19	日	・ため池の水引き・草刈り・工作	0	3	3
		21	火	・工作	0	1	1
		22	水	・草刈り・水路点検・工作	0	4	4
		23	木	・テント外し（台風対策）薪小屋づくり	0	3	3
	10	1	月	もち田の管理	0	2	2
		2	火	農道整備	0	1	1
		11	木	イノシシ柵点検	0	1	1
		17	水	唐箕修理	0	1	1
		18	木	中野町竹林整備	0	3	3
		24	水	唐箕受け器作成	0	1	1
	11	25	木	生き物池補修、男子トイレ管理、唐箕受け器作成	0	2	2
		26	金	足ふみ脱穀機修理	0	1	1
		30	火	足ふみ脱穀機修理	0	1	1
	12	1	木	笛づくり	0	1	1
		4	日	水の生き物池補修	0	1	1
	12	12	水	笛づくり	0	1	1
		13	木	笛づくり	0	1	1
		17	月	杭づくり	0	1	1
		18	火	杭づくり	0	1	1
参加者合計					0	61	61

No.	開催日時				行事名	作業内容	参加者数			備考
	年	月	日	曜			大人	子ども	計	
1	2018	4	15	日	里山ホリデー	雨天中止	—	—	—	水利組合、初芝校、NICE、守る会の協議
2	2018	5	20	日	里山ホリデー	溜池周辺の草刈り	17	0	17	NICEが合流
3	2018	7	22	日	里山ホリデー	田の草取り	20	3	23	NICEが合流
4	2018	12	16	日	里山作業と交流会	シイタケ採木用コナラの伐採、風倒木処理、交流会	17	0	17	NICEが合流
5	2019	1	27	日	観察路整備	観察路清掃、風倒木処理	6	0	6	歳のがが中心
6	2019	2	10	日	里山ホリデー	風倒木処理	6	0	6	NICEが合流
7	2019	3	10	日	里山ホリデー	雨天中止（自主活動に変更）	(4)	0	(4)	NICEが合流、シイタケ植樹は4月13日に延期
参加者数合計（延べ）							65	3	68	

年	月	日	曜	作業内容	一般	世話人	計
2018	4	6	金	無・草刈り・竹の伐採など	18	3	21
	5	4	金		19	5	24
	6	1	金	無・竹の伐採・池田への薪の運搬	23	4	27
	7	6	金	雨天中止	—	—	0
	8	3	金	田の草取り・小屋周辺の草刈り・片付け	0	3	3
	9	7	金		6	0	6
	10	5	金		10	3	13
	11	2	金	無作業・竹取の小笠周辺の竹の伐採・運搬	16	1	17
	12	7	金	かぐやの小笠周辺の伐採竹の持ち出し	15	2	17
	2	1	金		13	3	16
	3	1	金	竹林整備・ジャガイモ植え付け	18	3	21
	参加者数合計				138	27	165

※「一般」のほとんどは「大阪シニア自然カレッジ里山部会」の方々

年	月	日	曜	作業内容	参加者数		
					里山内外	守る会世話人	合計
2018	10	6	土	作業変更（団体の道、かぐやの笹刈り処理）	1	7	8
	10	14	日	栗の丘草刈り、水の生き物池草刈り、水の生き物池水漏れ補修、作業台作成、イノシシ柵補修	0	6	6
	5	19	土	栗の丘草刈り	0	6	6
	5	6	土	ミカン園草刈り	0	6	6
参加者数合計					1	25	26

②NPO 法人日本国際ワークキャンプセンター

(a)国際ワークキャンプ大阪富田林 2018(表 5)

NICE と守る会の共催で 8 月 30 日（木）～9 月 13 日（木）の間、奥の谷で実施した。①人工林の間伐、②竹林整備（中野町）、③竹林整備（奥の谷）、④観察路整備（階段づくり）を実施した。9 月 1 日（土）に歓迎会を行い、富田林市から副市長、産業環境部長、みどり環境課長、みどり公園係長および担当職員が来賓として参加した。市長からのメッセージが紹介



じないまち見学

された。

キャンパーは外国人 4 人（ロシア 2 人、ポルトガル、アメリカ）、日本人 1 人が参加、奥の谷のミカン小屋に宿泊した。キャンプ中の 9 月 4 日、台風 21 号が大阪を直撃、奥の谷にも大きな被害が出た。幸いホームステイ後のフリーデーであり、奥の谷には誰もいなく、キャンパーたちは市の設置した避難所（彼方保育園）に避難した。その後のワークは山道などの復旧作業に多くを充てることになった。

ワーク以外にはスライドショー（里山保全と生物多様性、奥の谷の四季）、ディスカッション（各国の環境問題）、クラフトづくり（竹細工など）、着付け、じないまち見学、お花、習字、ホームステイを行った。スタッフを含め地元などから延べ 142 人が参加した。国際ワークキャンプには協議会から 89,382 円の財政支援を受けた。

(b)週末ワークキャンプおよび週末香港国際ワークキャンプ(表 6,7)。

NICE 富田林チームは毎月 1 回、土日にミカン小屋に宿泊して里山保全活動などを行った。また、2018 年 5 月および2019年3月に香港からの参加者による香港週末ワークキャンプを実施した。

年	月	日	曜	作業内容	NICE	一般	守る会 世話人	子ども	計
2018	4	7	土		?	?	?	?	?
		8	日	植物観察会に合流(2人)	17	2	7	0	26
		19	土	果樹の丘草刈りに合流	1	0	(6)	0	1
		20	日	ため池周辺の草刈り・整備に合流	3	(16)	(12)	0	3
	6	2	土	里山見学・草刈り	5	0	3	0	8
		3	日	金剛コロニー樹林草刈り	12	0	8	0	20
	7	21	土	里山学習・昆虫観察会にスタッフ参加	5	(11)	(5)	(8)	5
		22	日	里山ホリデーに参加	12	(7)	(5)	(3)	12
		20	土	倒木処理	3	0	5	0	8
	10	21	日	倒木処理（奥結神手前、石塚林前）、果樹の丘草刈り	4	0	4	0	8
		17	土	里山見学・風倒木処理・市民大学14期生の応援	7	0	5	0	12
		18	日	風倒木処理、工作	10	0	7	0	17
		15	土	里山散策、草刈り、コナラの伐採	6	0	5	0	11
	12	16	日	里山交流会に参加	5	(2)	(10)	(0)	5
		12	土	どんとどきつきの準備・シイタケ樽木伐採	16	1	8	0	25
2019	1	13	日	どんとどきつぎに参加	21	(48)	(13)	(17)	21
		16	土	シイタケ樽木つくり、水田拡張	4	0	8	0	12
	2	17	日	野鳥観察会に合流・イノシシ解体に参加	5	(5)	(3)	0	5
				参加者合計	136	3	60	0	199

月日	曜	午前	午後	夜	参加者数		
					キャン パー	地元 子供	計
8月30日	木		13:00 奥谷不動観音会 小嵐寺に参るオリエンテーションなど		5	3	8
8月31日	金	プレゼン「生物多様性と里山保全」&「奥の谷の四季」 (10:00~12:00)	ワークのオリエンテーション 作業のデモンストレーション		5	4	9
9月1日	土	ワーク①(9:00~12:30)		夜祭会(17:30~18:00)	5	45	57
2	日	ワーク①(9:00~12:30)	習字・お茶		5	14	19
3	月	ワーク①(9:00~12:30)	日本の遊びを楽しむ	ホームステイ(18時~)	5	8	13
4	火	フリーデー		21時に奥谷不動観音に参る	5	2	7
5	水	ワーク②(9:00~12:30)	(送しそめん屋敷)		5	7	12
6	木	ワーク②(9:00~12:30)	寺内町見学		5	8	13
7	金	フリーデー		21時に奥谷不動観音に参る	5	2	7
8	土	クラフト			5	5	10
9	日	ワーク③(9:00~12:30)	お花	ホームステイ(18時~)	5	18	23
10	月	フリーデー		21時に奥谷不動観音に参る	5	2	7
11	火	ワーク③(9:00~12:30)	ディスカッション(14:00~16:00)		5	6	11
12	水	ワーク③(9:00~12:30)	さようなら会 (18:00~20:00; キャンパー主催)		5	5	10
13	木	片付け、総括	星舎後解散		5	6	11
参加者数合計					75	135	217
ワーク①: 人工林の間伐、ワーク②: 竹林整備(中野町)							
ワーク③: 竹林整備(奥の谷)、ワーク④: 観察路整備(階段づくり)							

表6 NICE週末ワークキャンプ（フレキャン普を言む）									
年	月	日	曜	作業内容	NICE	一般 守る金 世話人	子ども	計	
2018	4	7	土			?	?	?	?
		8	日	植物観察会に合流（2人）	17	2	7	0	26
		19	土	果樹の丘草刈りに合流	1	0	(6)	0	1
		20	日	ため池周辺の草刈り・整備に合流	3	(16)	(12)	0	3
	5	2	土	里山見学・草刈り	5	0	3	0	8
		3	金	南口ローニー梅林草刈り	12	0	8	0	20
	7	21	土	里山学習・昆虫観察会にスタッフ参加	5	(11)	(5)	(8)	5
		22	日	里山ホリデーに参加	12	(7)	(5)	(3)	12
	10	20	土	倒木処理	3	0	5	0	8
		21	日	倒木処理（奥城林平前、石巻林前）、果樹の丘草刈め	4	0	4	0	8
	11	17	土	里山見学・風船倒木処理・市民大生14期生の応援	7	0	5	0	12
		18	日	風船倒木処理・工作	10	0	7	0	17
12	15	土	里山散策、草刈り、コナラの伐採	6	0	5	0	11	
	16	日	里山交流会に参加	5	(2)	(10)	(0)	5	
	1	12	土	どんどと餅つき準備・シイタケ精木伐採	16	1	8	0	25
		13	日	どんどと餅つきに参加	21	(48)	(13)	(17)	21

表7 香港週末ワークキャンプ							
年	月	日	曜	作業内容	参加者数		
					キャンパー	世話人	計
2018	5	25	金	18:00頃到着	20	1	21
		26	土	人工林間伐	20	5	25
		27	日	人工林間伐	20	9	29
		28	月	12:00頃出発	20	5	25
2019	3	15	金	15時集合	17	4	21
		16	土	AM里山見学、PM人工林間伐	17	2	19
		17	日	人工林間伐	17	8	25
		18	月	12時過ぎ解散	17	2	19
合計参加人数					148	36	184

③他団体の講座の受け入れ(表 8)

(a)公益社団法人大阪自然環境保全協会(以後 保全協会)

- ・自然環境市民大学 16 期生
(地域の保全活動、里山保全実習)
1 班は人工林の間伐、2 班は観察路造成(のうさぎの径)、3 班は竹林整備。
- ・自然環境インストラクター養成講座(里山を歩こう)

表8 各種講座・講習会									
講座名 (主催団体)	年	月	日	曜	作業内容	参加者数			
						各団体 講座生・スタッフ	守る会 世話人	計	
自然環境市民大学 (自然環境保全協会)	2018	12	12	水	土曜講座	28	7	35	
			16	水	観察・奥の谷案内	28	7	35	
			30	水	奥の谷案内・計画・作業	28	7	35	
			6	水	作業	28	7	35	
			13	水	作業	28	7	35	
			20	水	作業	28	7	35	
			27	水	報告会	28	7	35	
新・里山講座 (自然環境保全協会)	2018	4	22	日	観察(鈴 野崎橋)	0	5	5	
			24	日	人工林間伐	14	5	19	
インストラクター養成講座 (自然環境保全協会)	2018	8	2	土	里山の説明(散策)・竹の伐採	16	4	20	
			9	水	奥の谷見学と七草粥	21	5	26	
チェンソー講習会 (鳥獣を守る会)	2018	3	13	水	観察と竹の伐採実習	21	6	27	
			22	日	講師：塩田農大氏	7	—	6	
参加者合計						275	74	28	373

・新里山講座（里山保全と生物多様性）

(b)大阪シニア自然カレッジ講座

春の里山観察とお粥作り、竹林管理。

(c)守る会主催の講座

チェンソー講習会を実施。

(2) 中野町の石川河岸段丘の竹林整備（表 9、10）

2010 年より中野町の河岸段丘崖の約 0.13ha の竹林（新堂交番の背後の竹林）を自然再生と地域の憩いの場所として整備を行っている。2018 年度も引き続き、竹の伐採、チップパーによる竹のチップ化、東側法面および西側平坦地の草刈りなどを実施した。2018 年度は協議会の行事を前年度より増やし、17 回実施した。また、計画された行事以外にも自主活動として有志による作業が行われ、西側法面のスロープの造成や北側入り口の門の設置など懸案だった事業が大きく前進した。

表9 中野町竹林整備							
開催日時			参加人数			作業内容	
年	月	日	曜	大人	子ども		計
2018	4	1	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	4	21	土	7	0	7	タケノコ類、東側法面の竹の伐採
	5	13	日	3	0	3	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	6	24	日	7	0	7	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	7	7	土	—	—	—	雨天中止
	8	5	日	5	0	5	伐採木の処理
	9	24	月	6	0	6	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	10	28	日	3	0	3	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	11	11	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	11	24	土	8	0	8	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	12	2	日	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	12	9	日	3	0	3	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
2019	1	6	日	7	0	7	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	1	19	土	5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	2	2	土	6	0	6	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	2	24	日	7	0	7	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
	3	9	土	10	0	10	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
3月24日				5	0	5	竹の伐採、チップパー作業、伐採木の処理・運搬、など
参加者数合計（延べ）				97	0	97	



新設スロープ

年	月	日	曜	作業内容	参加人数	
					一般	計
2018	12	本			0	3
	14	土			0	3
	18	水			0	3
	25	水			0	3
	28	土			0	3
	5	日		丸太運び	2	3
	8	水		丸太運び	0	2
	18	土		丸太運び	0	3
	10	水			0	1
	7	水		スロープ造成	0	1
	8	木		スロープ造成	0	1
	13	水		スロープ造成	0	1
2019	14	木		スロープ造成	0	2
	16	木		スロープ造成	0	2
	1	土			0	2
参加者数合計					2	34

2. 文化的活動（自然に親しみ、自然への理解を深める活動）

(1)米作り体験（協議会；表 11）

奥の谷の水田（約 300m²）を借地し、米作りを実施。協議会の行事として「田植え」、「稲刈り」、「稲こぎ（脱穀）」を行った。米作り全体の作業（水田の耕起、水の管理、畦の草刈りなど）は自然を守る会が行った。

行事名	開催日時				参加人数		
	年	月	日	曜	大人	子ども	計
田植え	2018	6	9	土	40	19	59
稲刈り		10	13	土	29	5	34
稲こぎ		11	3	土	22	3	25
参加者数合計					91	27	118



田植え

(2)春の野草を食べる会（協議会；表 12）

奥の谷の野草を積んで調理して食べた。メニューはヨモギ団、メナご飯、野草のおひたし（セリ、ヨメナ、ツリガネニンジンなど）、ノビルのぬた、タケノコの木芽和え、各種野草の天ぷらなどであった。この行事は毎年大変好評で、老若男女 61 人が参加。にぎやかで楽しい催しであった。毎年 4 月 29 日（昭和の日）に行っている。

行事名	年	開催日				参加人数	
		月	日	曜		大人	子ども
春の野草を食べる会	2018	4	29	日		40	21
里山クラフト	2018	11	23	金		14	5
どんどこもちつき	2019	1	13	日		82	17
参加者数合計						136	43

(3) 里山クラフト（蔓細工を中心に；協議会；表 12）

午前中は山に入りフジ、アケビ、アオツヅラフジなどの蔓を採取し、午後はそれを用いて籠やリース作りを行った。



里山クラフト（作品と一緒に）

(4) どんとともちつき（協議会；表 12）

「どんと」は正月のしめ飾りなどを燃やし神を天に送る伝統行事である。最初に書初めを行い、続いてどんと焼きを行った。そのあともちつきを行った。きな粉もち、あんこ餅、雑煮などを作り、みんなで楽しく食べた。この行事も人気の行事で 99 人の参加で楽しい催しとなった。

(5) シイタケ栽培

コナラの大径木 2 本を伐採、椎茸の楳木とした。栽培した椎茸は様々の行事での食事に利用した。植菌は 3 月の里山ホリデーで実施する予定であったが、当日は雨で中止となったので、4 月 13 日に延期した（表 1）。

(6) 果樹栽培

みかん小屋の前の果樹の丘や西尾氏のミカン園（最近多くのミカンが枯死している）で草刈りを中心に管理している。主として自然を守る会が草刈日を設けて実施した。果樹の丘にはカキ、スモモ、クリ、イチジク、クワ、グミ、オリーブ、ビワなどを植栽している。果樹の丘は里山の草地性植物の復活を目指して草原としての管理が目的の一つとなっている。

(7) 竹炭焼き

2015 年度に市民大学修了生を中心に炭焼班が作られ、竹炭焼きを実施した。竹炭は主として NICE の宿泊行事における囲炉裏などに使用した（P. 9 参照）。

(9) ニホンミツバチの飼育

数年前から奥の谷において山本氏を中心にニホンミツバチの飼育がおこなわれていたが、2018 年度にミツバチチームを結成した（P. 10 参照）。

(10) 南原における畑・水田・果樹づくり

数年前から保全協会のインスト講座修了者を中心にチーム「なんばるがんばる」を結成し、畑・水田・栗の管理などを行っている。また、守る会は 2018 年度より保全協会の「カレーライスを本当に手作りするプロジェクト」に協力し、「なんばるがんばる」が中心となって受け入れて活動した（P. 11 参照）。

(11) 里山工作（表 13）

2018 年度から月 1 回、活動に必要なものの作成や個人的な工作も可能な「里山工作」の日を設けた。

(12) 里山保全に伴う産物の提供

2018 年度から里山保全活動に対する募

表13 里山工作								
年	月	日	曜	作業内容	一般	世話人	子ども	計
2018	4	14	土		2	2	3	7
	5	12	土		0	1	0	1
	6	16	土		0	3	0	3
	7	8	日		0	3	0	3
	8	11	土		0	3	0	3
	10	27	土		0	2	0	2
	11	10	土		0	2	0	2
	12	8	土		0	0	0	0
2019	1	26	土		?	?	?	?
	2	9	土		0	3	0	3
	3	3	日		?	?	?	?
合計人数					2	19	3	24

金を募り、募金していただいた方の希望者に、お礼として竹炭、間伐材の板、薪などを提供する制度を発足させた。

3. 調査・提言・要望活動など

(1) 自然観察（協議会；表 14）

①植物観察会

これまで奥の谷で 4 回の観察会を実施した。

②昆虫観察会

午後 3 時に集合し、昼間はトンボやチョウを捕りながら山野を歩き、バナナトラップを樹木などに仕掛けた。その後嶽山の昆虫標本（自然を守る会所蔵）を観察した。夕食後山裾に設置したライトトラップを点灯した。日没後、樹液に来ている昆虫やバナナトラップに来ている昆虫を観察しながら真っ暗な山中を懐中電灯を頼りに歩いた。そのあとライトトラップに飛来した昆虫を観察した。

行事名	開催日時				参加人数		観察した生き物	備考
	年	月	日	曜	大人	子ども		
植物観察会	2018	4	8	日	7	0	ウミズグサ、オオイヌノフグリなど	奥の谷（ルーベで観察）
		6	16	土	5	0	ノアザミ、キツネノボタン、オニタビラコなど25種	奥の谷
		9	22	土	5	0	センニンソウ、ワレモコウ、ツリガネニンジン、ゲンノショウコなど69種	奥の谷
		10	7	日	5	1	シリブカガシ、ツブラジイ、アラカシ、コナラ	奥の谷（どんぐりを採ろう）
昆虫観察会	2018	7	21	土	16	8	モンシロチョウ、タマムシ、カナブン、キマワリ、クロコガネ、ヒグラシなど31種	奥の谷（ネッティン・グ・ライトトラップ・バナナトラップ）
水の生き物観察会		6	17	日	24	24	メダカ、アメンボ、オタマジャクシ、マツモムシなど11種	奥の谷
野鳥観察会	2019	2	17	日	10	0	カルガモ、カイツブリ、トビ、シメなど28種	滝谷不動駅～春日神社～奥の谷
春を見つける観察会		3	2	土	7	11	アカガエルの卵、ツクシ、フキ、ハコベ、タネツケバナなど	奥の谷
参加人数合計（延べ）						72	44	123

③野鳥観察会

上村賢氏（日本野鳥の会）を講師に実施した。これまでは錦織公園で実施してきたが、2018 年度は「近鉄滝谷不動駅～石川～春日神社～奥の谷」のコースで実施した。



野鳥観察会

④水の生き物観察会

奥の谷の水の生き物池において、子どもたちを中心に水の生き物捕りを実施した。

⑤春を見つける観察会

アカガエルの卵塊、ツクシ、フキノトウなど早春の動植物などを見つけ、春を感じようと 2018 年度から新たに実施した。



アカガエルの卵塊

(2) 自然環境保全活用調査（協議会）

富田林市が里山倶楽部に委託した調査に、協議会が協力して調査に参加した。主として文献調査による富田林の野鳥のリストの作成であったが、補足調査として奥の谷での台風 21 号の被害状況を調査した。活用調査その 17 として次のような内容の報告書が作成された。

1. 生物多様性保全のための基礎調査

(1) 富田林の野鳥についての文献調査（富田林市の鳥類目録）

(2) 生物多様性保全の取組みについて〔①調査結果のまとめ、②富田林の野鳥につ

いて生物多様性保全の視点からの提案

2. 補足現地調査（奥の谷地区 台風 21 号及びクビアカツヤカミキリ被害調査）

(3) モニ 1000 里地調査(表 15)

モニ 1000 里地調査は環境省が日本自然保護協会に委託して実施している調査で、守る会は植物およびチョウの調査を奥の谷で行なっている。調査担当者は主として市民大学 OB の人たちである。

(4) 南原（みなんばら）の植生調査(表 16)

守る会は南原でルートセンサスおよび畦に設置したコドラートの植生調査を実施している。調査担当者は主として市民大学 OB の人たちである。

(5) 錦織公園の植生調査(保全協会；表 16)

守る会は保全協会の都市公園自然調査研究会が行なう錦織公園での調査に協力した。ここでの調査はルートセンサスによる植生調査を中心に昆虫、野鳥についても調査した。

(6) フクロウ調査への協力(府立大学；表 16)

このほか、守る会は大阪府立大学学院生のフクロウ調査に協力した。

(7) 市への要望

「要求とまちづくり富田林実行委員会」に加入し、この委員会が市に提出した要望書の自然環境にかかわる項目（「農業と自然・住環境を守り歴史と自然文化息づくまち富田林を」の項）の要望をまとめ、3 月 15 日に行われた市との話し合いに参加した。またこの要望書に基づく市議会議員あて要望書名にも取り組んだ。



対象	年	月	日	曜	参加者数		
					モニ1000 スタッフ	守る会 世話人	計
植物	2018	4	27	金	4	0	4
		5	25	金	5	0	5
		6	22	金	5	1	6
		7	27	金	4	2	6
		8	24	金	3	1	4
		9	28	金	5	0	5
		10	26	金	5	0	5
		11	16	金	9	1	10
	12	21	金	5	0	5	
	2019	1	25	金	5	0	5
		2	22	金	6	0	6
		3	8	金	5	2	7
チョウ	2018	4	13	金	6	0	6
		5	11	金	3	1	4
		6	8	金	7	1	8
		7	13	金	5	1	6
		8	10	金	5	2	7
		9	14	金	4	2	6
		10	12	金	6	1	7
		11	9	金	雨天中止	—	—
		2019	3	22	金	5	1
	合計参加者数				102	16	118

年	月	日	曜	作業内容	参加者数				備考
					一般	世話人	子ども	計	
2018	9	26	水	錦織公園植生調査	5	2	0	7	保全協会
2019	2	5	火	フクロウ巣箱調査	3	0	0	3	府大
2018	5	6	日		3	1	0	4	
2018	7	4	水	南原植生調査	—	—	—	—	雨天中止
2018	10	24	水		3	1	0	4	
2018	12	10	月	石川自然ゾーン調査	(5)	(1)	(0)	(6)	石川協議会
参加人数合計					14	4	0	18	

(8)「富田林の自然」誌の発行(協議会)

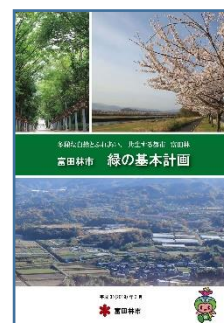
協議会は「富田林の自然 No. 17」の発行準備中。

(9) 富田林市緑の基本計画策定への協力(協議会)

富田林市は2007年に策定した緑の基本計画を2019年3月に改訂した。協議会はこの改定にあたって議論に参加し、それらの意見が一定程度反映された。また、これらの議論の中で、生物多様性地域戦略の策定の必要性が強調された。

(10) 石川河川公園自然ゾーン計画運営協議会(石川協議会)

石川協議会に守る会から委員 1 名が選任されている。協議会が



2018 年 7 月 12 日に開催された。「平成 29 年台風 21 号の被害について」「石川河川公園希少種保護マニュアル(案)について」「平成 30 年度の活動（案）」「石川河川公園の工事情報」などが議論された。

【Ⅲ】2018 年度の活動のまとめ

1. 各種活動への参加人数まとめ（表 17）

協議会と守る会の事業の多くは一体的に取り組まれており、それらの活動には 2017 年度の 1 年間で延べ 2316 人（大人 2103 人、子ども 213 人）の参加があった。

2. 2018 年度で特徴的だったこと

- 奥の谷の設備が充実した（ヘルメット置き場、足洗い場の踏み台、男子トイレの手水鉢、薪小屋、工作用の机など）。
- 発電機及び水揚げポンプを更新した。
- 太陽光発電システムのバッテリーを更新した。
- 20 周年記念となる国際ワークキャンプを実施した。
- 内田林の中央付近から北西に尾根に上る観察路が完成した（市民大学 16 期実習）。
- 中野町竹林の整備が進んだ（東側モウソウ竹林とマダケ林の境界の橋、西法面のスロープ、北及び南入り口の門、北東入り口の竹柵）。
- 台風 21 号による倒木被害が多数発生した。
- 米づくり体験の稲作にイノシシによる大きな被害が出た。
- 稲の馬鹿苗病が発生した。
- コナラの古木にナラ枯れが多発した。

表17 各種活動への参加人数まとめ

	行 事 名	参加者数		
		大人	子ども	合計
協議会活動	里山保全活動 6回	65	3	68
	米作り体験 3回	82	27	109
	文化行事 3回	136	43	179
	自然観察会・調査 8回	72	44	116
	中野町竹林整備 17回	97	0	97
守る会及び他団体との共催・協力・受け入れ活動	中野町竹林整備(自主活動) 16回	36	0	36
	里山保全活動 10回	165	0	165
	竹炭焼 10回	37	0	37
	草地管理 4回	26	0	26
	煙づくり(ナンバルガンバル) 25回	244	0	244
	ニホンミツバチの飼育 (約14回)	111	0	111
	里山工作 11回	24	0	24
	自主活動(奥の谷) 31回	61	0	61
	モニ1000 植物12回、チョウ8回)	118	0	118
	その他の調査(錦織公園、南原、フクロウ)	18	0	18
	国際ワークキャンプ(NICE) 1回(15日)	210	7	217
	国際週末ワークキャンプ(NICE) 2回(8日)	183	0	183
	週末ワークキャンプなど(NICE) 9回(18日)	199	0	199
	受け入れた講座 5講座(12日)	349	0	349
	他団体受け入れ行事など 25団体(25日)	161	104	265
参加者数合計		2,394	228	2,622

I. 活動内容

-



2018 年

- 2019 年

- | | | |
|----------|------------|--------------|
| 1月12日(土) | 7:00～16:00 | 炭焼きと次回準備参加5名 |
| 2月23日(土) | 7:00～16:00 | 炭焼きと次回準備参加4名 |
| 3月23日(土) | 7:00～16:00 | 炭焼きと次回準備参加3名 |

① 炭焼き作業計画 4月～6月及び9月～3月 10回

② 以下を目的として炭焼きバックヤードを建立する（右図）

-

ミツバチチーム活動報告

ミツバチチームは、下記活動目的の基、2017 年 1 月から活動を開始し、2018 年度（2018/4/1～2019/3/31）は、以下 14 回の活動を行い、延べ 111 名が参加した。

<活動目的>

- ・養蜂文化を通しての人と自然のかかわりや里山の意義の理解
- ・里山の生物多様性向上
- ・養蜂によるミツバチ生態系・ミツバチ-植物間生態系理解・普及

<2018 年度の活動>

本年度は、昨年度製作した巣箱 4 個に、河内長野で捕獲した分蜂群を入れて奥の谷に設置し(刈の木下 1 群、ツツジの丘 1 群、南原 2 群)、内検(巣箱内の状態検査)や採蜜、蜜蝋作りなどを行った。しかし内 1 群はオオスズメバチの襲撃で、内 1 群は蜂数が増えず、内 2 群は寒さに負けて越冬できず、4 群とも消失した。消失までに貯蜜は行われていたので合計 4 回採蜜し、チーム活動と奥の谷の行事で参加者に配布した。

今年も 1～3 月に竜泉里山の杉材で重箱式巣箱 3 セットと T-Bar 式巣箱 3 セットを製作した。そして 4 月に、ミツバチの多い竜泉里山で分蜂群を捕獲させてもらおうと共に、ニホンミツバチの誘因蘭：キンリョウヘンを巣箱横に設置して分蜂群の入居を待った。その結果、竜泉里山で 2 群捕獲し、奥の谷に設置できたが、その内 1 群は逃去した。その後、竜泉里山とツツジの丘に置いた巣箱に分蜂群の自然入居があった。今後、竜泉里山から譲ってもらう 1 群と合わせて飼育を行い、引き続き観察や採蜜などの活動を行う予定である。また、奥の谷は人工林が多く、夏から秋にかけての蜜源が少ないように思われるので、休耕田でのソバの栽培も試みる予定である。

- ・ 5 月 27 日(日)：飼育方法の説明と実習、観察 (9 名)
- ・ 8 月 29 日(水)：巣箱内検、スズメバチ対策用巣門製作と設置 (8 名)
- ・ 10 月 21 日(日)：巣箱内検、スズメバチ捕獲用粘着シート設置、採蜜 (14 名)
- ・ 11 月 20 日(火)：巣箱内検、巣箱回収、採蜜 (9 名)
- ・ 12 月 9 日(日)：巣箱内検、巣箱回収、巣箱設置場所整備 (4 名)
- ・ 1 月 17 日(木)：竜泉里山の杉材を製材所に運搬し製材 (9 名)
- ・ 2 月 15 日(金)：巣箱部材加工、巣箱内検、給餌 (12 名)
- ・ 2 月 18 日(月)：巣箱部材加工、T-Bar 式巣箱組立、蜜蝋作り (6 名)
- ・ 2 月 25 日(月)：巣箱部材加工、巣箱内検、給餌 (6 名)
- ・ 3 月 4 日(月)：巣箱部材加工 (3 名)
- ・ 3 月 8 日(金)：巣箱部材加工、重箱式巣箱組立 (6 名)
- ・ 3 月 14 日(木)：分蜂板・表示板製作、内検、採蜜 (8 名)
- ・ 3 月 25 日(月)：巣箱と表示板の設置 (7 名)
- ・ 3 月 31 日(日)：巣箱屋根と底の製作と設置、採蜜 (10 名)



設置した巣箱と表示板



回収した巣箱の中



採蜜の様子



製作した巣箱



T-Bar 式巣箱の中

チームナンバルガンバル活動報告（2018年4月～2019年3月）

目的： ネイチャー大阪の講座（インストラクター養成講座）修了生を中心に、出来るだけ気軽に自然体験を行える場所を作ることが目的としています。2018年3月より、同じくネイチャー大阪のプロジェクトとして「カレーライスを本当に手作りするプロジェクト」をスタートし、より多くの一般の参加者を募集していく活動も同時に始めました。

- ・食べ物が生き物からできているということを思い出すこと。
 - ・料理の素材がどのように育ち、収穫され、流通し、販売されているかというプロセスを知ること。
 - ・そのプロセスを知識としてではなく、体験を通じてわかる、ということ。
- 野菜やお米・お肉などを手作りする体験を通じて、普段の生活では感じにくい、それらを育てるためにはどのような環境が必要なのか、現状はどうなっているのか、考えるきっかけを作る。

日にち	参加者数	作業内容
3月4日	2	じゃがいも植え付け(カレープロジェクト)
3月11日	4	じゃがいも畑排水作業(カレープロジェクト)
3月25日	12	畝たて・ターメリック/コリアンダー/クミン植え付け(カレープロジェクト体験会1回)
4月14日	10	畝たて・ニンジン/唐辛子/ショウガ植え付け(カレープロジェクト体験会2回)
4月29日	16	トマト植え付け田んぼの土づくり(カレープロジェクト体験会3回)
5月19日	9	堆肥作り(カレープロジェクト体験会5回)
6月9日	12	田植え、畑の手入れ(カレープロジェクト体験会6回)
6月24日	14	ジャガイモ収穫・試食 畑の手入れ(カレープロジェクト体験会7回)
7月21日	2	ナンバル草刈り・田んぼの水入れ
7月22日	6	トマト・コリアンダーの収穫・トマトピューレづくり(カレープロジェクト体験会7回)
8月11日	11	トマト・コリアンダー・唐辛子の収穫、田んぼの水入れ(カレープロジェクト体験会8回)
8月12日	7	看板づくり・ナンバル草刈り
9月1日	2	ジャガイモの植え付け、ニンジンの種まき
9月17日	15	器づくり&かかしづくり
9月24日	5	にんにく、玉ねぎ、ほうれん草の植え付け(カレープロジェクト体験会9回)
10月13日	9	稲刈り(カレープロジェクト体験会10回)
10月28日	8	ターメリック&ショウガの収穫(カレープロジェクト体験会11回)
11月3日	6	お米の脱穀(カレープロジェクト体験会12回)
11月24日	15	カレー皿の野焼き
12月2日	39	カレー祭り(カレープロジェクト体験会最終回)
1月19日	17	2019年何を作るかミーティング
3月3日	10	ジャガイモの植え付け
3月10日	3	田んぼの草刈り、溝の掃除
3月21日	3	田んぼの草刈り、溝の掃除
3月24日	7	ニンジンの種の植え付け、唐辛子の苗床づくり



第2号議案 2018年度 会計決算報告

1.一般会計

収入の部

項目	予算額(a)	決算額(b)	増減(a-b)	備考
繰越金	0	0	0	前年度からの繰越金
会費	90,000	88,000	2,000	
行事参加費	6,000	0	6,000	
寄付	10,000	18,243	-8,243	竹炭・薪・木材・もち米
雑収入	40,000	12,223	27,777	飲料 金属スクラップ 利息
自然保護特別会計より	60,000	0	60,000	
合計	206,000	118,466	87,534	

支出の部

項目	予算額(a)	決算額(b)	増減(a-b)	備考
行事費	40,000	21,613	18,387	飲料・各種お茶・精米代など
通信郵送費	10,000	0	10,000	
消耗品費	20,000	12,309	7,691	ガソリン、セメント、など
ワークキャンプ費	110,000	52,391	57,609	
協賛金及び寄付	20,000	0	20,000	
予備費	6,000	26,000	-20,000	製材費
合計	206,000	112,313	93,687	

* 次年度への繰り越し = 118,466-112,313= 6,153 円

2.自然保護特別会計

収入の部

項目	金額	備考
繰越金	1,092,165	
大阪自然環境保全協会・各種行事受け入れ謝礼金・講演等講師謝礼金	209,000	
合計	1,301,165	

支出の部

項目	金額	備考
ソーラーシステム蓄電池交換	677,592	
富田林の自然を守る市民運動協議会へ	432,600	
合計	1,110,192	

* 次年度への繰り越し = 1,301,165-1,110,192 = 190,973 円

3. 国際ワークキャンプ大阪富田林2018 会計報告

収入の部

項 目	予算額	決算額	増減(a-b)	備 考
富田林の自然を守る市民運動協議会より	100,000	89,382	10,618	
自然を守る会一般会計より	60,000	52,391	7,609	
一般参加費	30,000	52,400	-22,400	
寄付金等	10,000	10,000	0	
合 計	200,000	204,173	-4,173	

支出の部

項 目	予算額	決算額	増減(a-b)	備 考
通信印刷費	30,000	15,000	15,000	・通信・印刷費(NICE;3,000×5)
キャンプ運営費	50,000	42,600	7,400	キャンパー食費など
燃料費	10,000	27,281	-17,281	発電機・軽トラック・チェーンソー用ガソリン
消耗品費	40,000	29,003	10,997	救急用具・薬品類・機械器具交換部品など
施設整備費	0	9,098	-9,098	扇風機・ライトなど
保険費	10,000	9,000	1,000	ボランティア保険
入浴費	30,000	18,800	11,200	キャンパーの入浴代
クリーニング費	—	8,000	-8,000	キャンパー衣類の洗濯
歓迎会費	30,000	23,001	6,999	食材など
イベント費	—	9,359	-9,359	習字・お茶など
その他(予備費)	0	13,031	-13,031	
合計	200,000	204,173	-4,173	

4. コメリ助成金特別会計

第28回 コメリ緑資金活動収支計算書

収入			
費 目	金 額 (円)		
コメリ緑資金助成金	70,000		
自己資金	583		
合 計	70,583		
支出			
品 名	単価 (円)	数量	金額 (円)
皮手袋 (豚革マジックM)	548	10双	5,480
皮手袋 (豚革マジックL)	548	10双	5,480
皮手袋 (豚革マジックLL)	548	10双	5,480
スパイク付長靴 (25cm)	2,480	5足	12,400
スパイク付長靴 (27cm)	2,480	5足	12,400
ヘルメット	1,980	10ヶ	19,800
ソーチェーン (5本セット)	8,743	1セット	8,743
ソーチェーン送料	700		700
ソーチェーン料送金手数料	100		100
合 計			70,583

第3号議案 2018年度会計監査報告

富田林の自然を守る会 2018 年度一般会計、自然保護特別会計、国際ワークキャンプ特別会計、コメリ助成金特別会計について歳入歳出決算書、証拠書類および帳簿を審査したところ、収支とも適正であることを認めます。

2019 年 5 月 26 日

富田林の自然を守る会会計監査

市川悦久 

第4号議案 2019年度 活動計画

I. 活動の方針

自然生態系の保全・生物多様性の保全を目標に富田林市内全域の自然環境保全を視野に活動する。下に示すように「自然生態系・生物多様性保全に係る直接的な活動」、「自然に関わる文化的活動(自然とふれあう活動)」、「調査・提言活動」の3つの活動を統一的にとらえて活動する。また、自然豊かなまちづくりをめざし、行政や多くの市民や市民団体とも協力し、協働して活動する。



キンラン

1. 自然環境保全活動（生態系保全・生物多様性保全）

(1) 里山保全活動

- ①雑木林の林床管理（下樵りを中心に）
- ②人工林(スギ・ヒノキ林)の管理（間伐、枝打ち）、
- ③竹林管理（雑木林および人工林へ侵入したタケの除伐、竹林の管理）
- ④作業路（観察路）づくり
- ⑤草地管理（休耕田とその畦、ため池の土手などの草刈り）
- ⑥水生生物の保護と育成（水の生きものの池の管理）

(2) 河岸段丘崖の竹林整備（中野町）

2. 文化的活動（自然とふれあう活動）

- ①米作り、②竹炭焼き ③シイタケ栽培 ④果樹栽培 ⑤日本ミツバチの飼育 ⑥畑づくり ⑦野草を食べる会 ⑧里山クラフト ⑨里山工作 ⑩どんどこもちつき

3. 自然観察・調査・提言活動

- ①自然観察（植物・昆虫、野鳥、水生生物）
- ②自然環境保全活用調査(富田林市の調査に協力)
- ③モニタリング 1000 里地調査（植物、チョウ）
- ④錦織公園自然調査（保全協会の都市公園自然調査研究会に協力）
- ⑤その他の調査
- ⑤「富田林の自然」誌の発行（富田林の自然を守る市民運動協議会に協力）
- ④生物多様性保全に関する取り組み

4. 班活動の充実

数年来上記のそれぞれの活動が活動班として行われることが多くなっている。2019年度は以下の班をもとに班活動を軌道に乗せるように努める。

炭焼き班、チームなんばるがんばる、ミツバチチーム、コメづくり班、薪づくり班、中野町竹林整備班、果樹栽培班、施設整備班、里山工作班、観察会班、昼食づくり班、草刈り班。

II. 自然環境を守る政策、行政・地域との協働

〔1〕富田林の自然を守る市民運動協議会

昨年にひきつづき、協議会の事業に積極的に取り組む。具体的には次の事業などが計画されている（富田林の自然を守る市民運動協議会 2019年度活動計画より）。

1. 自然環境保全活動

(1) 里山保全活動

「里山ホリデー」と称して里山保全の作業を下記の日程で行う。作業の内容は、雑木林の下樵り、竹林整備と竹林の拡大防止、人工林の管理（間伐、枝打ち、伐倒木の皮むきなど）、休耕田・放棄田・溜池の土手などの草刈り、果樹の手入れ、自然観察路（作

業路) 造成・整備などとする。場所は奥の谷および南原とその周辺で、時間は原則として毎回 10:00～15:00 頃とする。

日程:2019 年 4 月 14 日 (日)、5 月 26 日 (日)、6 月 23 日 (日)、7 月 21 日 (日)、10 月 20 日 (日)、11 月 10 日 (日)、12 月 22 日 (日)、2019 年 2 月 9 日 (日)、3 月 15 日 (日)。なお、12 月 22 日は「里山保全作業と交流会」と称して午前は里山保全作業を行い、午後は交流会とする。また、富田林の自然を守る会は 30 周年記念事業として協議会が 2006 年に提案した奥の谷周辺の観察路について、その両側約 10m に里山的管理を実施する計画を立案しており、雑木林の下樵り、竹林整備、人工林の管理についてはこの計画を踏まえて実施する。

このほか、自然を守る会の主催で、毎月第 1 金曜日に里山保全作業を実施する。

(2) 中野町竹林管理

中野町の河岸段丘および段丘崖の竹林を整備し、生物多様性を向上させるとともに地域の憩いの場所として活用することを目指す。下記の日程で作業を行う。作業は竹の伐採、チップ作業、伐採木の処理、草刈りなどである。また、適宜子どもを対象とした竹で遊ぶ会などを行う。時間は原則として毎回 9:30～12:00 とする。

日程：2019 年 4 月 6 日 (土)、4 月 21 日 (日)、5 月 4 日 (土)、5 月 19 日 (日)、6 月 1 日 (土)、6 月 16 日 (日)、7 月 6 日 (土)、7 月 28 日 (日)、8 月 3 日 (土)、8 月 18 日 (日)、10 月 5 日 (土)、10 月 14 日 (月；体育の日)、11 月 4 日 (月；振替休日)、11 月 17 日 (日)、12 月 7 日 (土)、12 月 15 日 (日)、2020 年 1 月 19 日 (日)、2 月 1 日 (土)、2 月 23 日 (日)、3 月 7 日 (土)、3 月 22 日 (日)

2. 文化的行事

(1) 米作り体験

借地している奥の谷の水田で有機栽培による米作りを行う。収穫した米は原則として各種行事に使用する。

①田植え

日時：6 月 8 日 (土) 10:00～15:00 頃 (予備日 9 日)。

②稲刈り

日時：10 月 12 日 (土) 10:00～15:00 頃 (予備日 13 日)。

③稲こぎ

日時:11 月 2 日 (土) 10:00～15:00 頃 (予備日 3 日)。

(2) 春の野草を食べる会

日時：4 月 29 日 (日；昭和の日) 10:00～15:00 頃。

場所：奥の谷。

(3) 里山クラフト

日時:11 月 23 日 (土；勤労感謝の日) 10:00～15:00 頃。

場所：奥の谷。

(4) どんとともちつき



ツクバネウツギ

日時：1月12日（日）10:00～15:00 頃。

場所：奥の谷。

(5) 里山生活入門

例年嶽の会が中心で実施してきた観察路整備を中止し、この事業に変更する。のんびりと里山生活を楽しむ会とする。

日時：1月26日 10:00～15:00 頃。

場所：奥の谷

3. 自然観察・調査研究・提言活動

(1) 自然観察

① 植物観察会

下記の日程でおこなう。原則として奥の谷を中心として実施するが、適宜地域を変更する。また、内容についても検討する。

日程：4月20日（土）、6月2日（日；金剛コロニー～観心寺）、6月15日（土）、9月21日（土；金胎寺山）、10月27日（日；ドングリ観察）。

② 昆虫観察会

子どもを中心に、ネットによる自由採集、バナナによるベイトトラップ、ライトトラップ、夜間ルート観察などを行う。

日時：7月20日（土）15:00～21:00 頃。場所：奥の谷。

③ 野鳥観察会

日時：2月18日（日）9:00～13:00 頃。

場所：近鉄滝谷不動駅～石川～春日神社～奥の谷。

④ 水の生き物観察会

「水の生き物池」で水生生物を採集・観察する。

日時：6月30日（日）10:00～13:00 頃 場所：奥の谷。

⑤ 観察会入門（春を見つけよう）

早春の動植物を見つける。

日時：3月8日（日） 場所：奥の谷



アカガエルのオタマジャクシ

(2) 自然環境保全活用調査 その18

富田林市が里山倶楽部に委託して行う調査に積極的に協力する。

(3) 冊子「富田林の自然」No. 18の発行

「富田林の生き物、自然景観、保全活動などを写真で紹介」、「専門家による自然保護に関する解説」、「富田林の生物調査などの紹介」、「自然環境保全活用調査の抜粋」、「協議会参加団体の活動紹介」、「協議会の活動報告」などを内容とする冊子を3月に発行する。

(4) 生物多様性保全の取り組み

2019年3月に「富田林市緑の基本計画」が改定された。また、「自然環境保全活用調査」においても2016年度より「生物多様性保全のための基礎調査」が行われてきている。これらの取り組みを踏まえて「生物多様性地域戦略」の策定に向けて検討す

る。

また、里山保全活動などで発生する間伐材や竹材を木質バイオマスとしての活用を検討する。さらには、今後の自然保護活動の担い手の養成を視野に、生物多様性保全を中心とした講座の開催、地域の自然にかかわる団体などとの連携などについて検討する。

〔2〕大阪府との協働

(1) 石川自然ゾーン計画・運営協議会

大阪府が設置している当協議会に1名の委員を送り、石川の自然環境のあり方について議論する。

〔3〕地域との協働

引き続き水利組合、NICE、初芝富田林校と協働で溜池の土手・水路の脇などの草刈りを実施する（5月26日）。

〔4〕行政への要望

「要求とまちづくり富田林実行委員会」に加入し、市内の各種市民団体と協力して自然環境保全に関する要望活動を行なう。

Ⅲ. NICE（日本国際ワークキャンプセンター）との共催事業

(1) 国際ワークキャンプ大阪富田林 2019

富田林の自然を守る市民運動協議会の協力のもと、NICE と共催で取り組む。今年度は8月29日(木)～9月12日(木)の予定。

(2) NICE週末キャンプ（プレキャンプ、秋・春合宿を含む）

月1回の週末キャンプを下記の日程で取り組む。

4月13日～14日、5月25日～26日、6月22日～23日、7月20日～21日、10月19日～20日、11月9日～10日、12月21日～22日、1月11日～12日、2月8日～9日、3月14日～15日。

(3) その他のワークキャンプ

①阪大里山体験学習 7月12日～14日

②香港2ヵ国ワークキャンプ 7月22日～29日

Ⅳ. 外部団体からの依頼・相談・協力など

(1) 公益社団法人大阪自然環境保全協会

保全協会の提携団体として登録し協力して活動する。「自然環境市民大学」17期の講座（「地域の保全活動」、「企画・運営」、「新里山講座」および「カレーライスを本当に手作りするプロジェクト」）を受け入れる。

(2) NPO 法人大阪シニア自然カレッジ

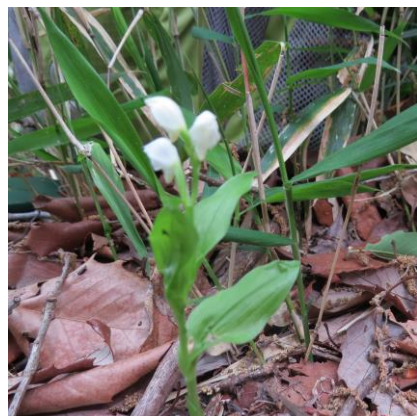
「竹の除伐・竹林整備」、「人工林の間伐など」、「七草摘みと七草粥」の講座を受け入れる。また、当カレッジの「里山グループ」と協働する。

(3) 富田林市市民公益活動支援センター

当支援センターに登録し、市内のNPOなどとの連携を図る。

(4) その他

そのほか各種の依頼・相談は可能なかぎり受け入れ



ギンラン

る。

V. 果樹園・水田・畑などの栽培・管理

(1) 果樹の栽培

南原栗園、果樹の丘、ミカン園の草刈り、施肥などの管理を行う。南原についてはチーム「なんばるがんばる」と協力して実施する。

(2) 稲作および野菜の栽培

稲作については田植え、稲刈り、稲こぎは協議会の行事とする。畑についてはシニア自然カレッジ里山班などと協力して実施する。収穫物は各種行事で使用する。

VII. 自然環境調査

- (1) 富田林市の「自然環境活用調査」に協議会とともに協力する。
- (2) 環境省「モニタリングサイト 1000 里地調査」（日本自然保護協会が実施）の植物およびチョウの調査を引き続き実施する。
- (3) 奥の谷の植物、昆虫、水生生物、その他の動植物の生息状況調査を実施する。
- (4) 都市公園自然調査研究会（大阪自然環境保全協）が実施する、錦織公園の調査研究に協力する。

VI. 施設・設備の整備

必要に応じて「みかん小屋」とその周辺設備などの改修など施設の整備を行なう。

IX. その他

(1) 30 周年記念事業

富田林の自然を守る会は 2019 年 6 月に設立 30 周年を迎える。記念事業として奥の谷の観察路整備（観察路の両側約 10m について里山的管理を実施する）を行う。また、講演会などを行う方向で準備を進める。

(2) 里山からの生産物の有効利用をすすめる（一口 300 円の寄付に対してお礼として薪、間伐材、竹炭などを提供する）

(3) 助成金

上記のいくつかの事業は、林野庁の「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」（さとり事業）の「森林資源利用タイプ」の助成（420,000 円）を受けて実施する。

X. 会議

世話人会を原則として月 1 回（毎月第一日曜日の 13:00～15:00）奥の谷で開催する。世話人会には世話人でなくとも会員であればだれでも出席し意見を述べるができるものとする。

年一回、原則として 6 月に総会を開催する。

第5号議案 2019年度 予算案

1.一般会計

収入の部

項目	予算額	前年度決算額	備考
繰越金	6,153	0	
会費	90,000	88,000	
行事参加費	6,000	0	協議会の行事を除く行事
寄付	30,000	18,243	製材した用材、竹炭、薪等による寄付
雑収入	10,000	12,223	飲料収入・利子等
自然保護特別会計より	0	0	
合計	142,153	118,466	

支出の部

項目	予算額	前年度決算額	備考
行事費	30,000	21,613	協議会の行事を除く行事
通信郵送費	10,000	0	総会案内など
消耗品費	20,000	12,309	
ワークキャンプ費	60,000	52,391	
協賛金及び寄付	10,000	0	
予備費	12,153	26,000	
合計	142,153	112,313	

2.国際ワークキャンプ特別会計

「国際ワークキャンプ大阪富田林2019」の実施が予定されており、例年通り、特別会計をおく。

3.自然保護特別会計

講座、講演等の謝礼金をもとに「自然保護特別会計」を置いており、昨年度からの繰越金が190, 973 円となっている。2019年度も例年通り特別会計をおく。

4.さとり特別会計

さとり助成金を受けることが決まっており、特別会計をおく。

第6号議案 2019年度役員(案)

代 表 田淵武夫
 会 計 上角敦彦
 会計幹事 市川悦久
 世話人 伊佐知子、石垣和美、市原二郎、奥村 勉、笠原英俊、金子芳正、岸本重男、
 五箇 哲、瀬戸照行、塚原知行、三嶋富士夫、見村匡人、楠本孝一
 [会員数:138人、2団体(5月26日現在)]